

2004年度 全学共通カリキュラム外部評価 実施要領および評価作業の経緯

1. 外部評価の目的

「自己点検・評価」、「認証評価」に加え、さらに「外部評価」を受けることにより、より多面的かつ客観的な評価を得て、全カリ運営センターの自律的機能としての改善サイクルを確立するとともに、今後の全カリ改革に向けた、具体的な実施案を策定するにあたっての助言を得ることを目的とした。

2. 評価項目

初回である今回の主たる評価対象は、以下の4点とし、全カリ関係の諸資料と関係者に対するヒアリングにより、総合的な評価をお願いした。なお、評価対象には、カリキュラムだけではなく組織・運営も含めたが、この点が他大学とは異なる本学の特色であると考えたからである。

- ①組織・運営
- ②言語教育カリキュラム
- ③総合教育カリキュラム
- ④カリキュラム全般

3. 外部評価委員

外部評価を委嘱した委員は以下のとおりである（所属は委嘱時）。なお、各委員の氏名の後の番号は、委嘱時に重点的に評価を依頼した前項の点検項目である。

委員長 関根 秀和 氏①②

（大阪女学院院長・大阪女学院大学学長）

後藤 邦夫 氏③

（テキサス大学オースチン校 IC² 研究所
上級研究員、桃山学院大学名誉教授）

田辺 洋二 氏*②

（東京国際大学教授、早稲田大学名誉
教授）

吉田 文 氏③

（メディア教育開発センター教授）

足立 寛 氏①④

（株式会社進研アド 大学改革企画室
BETWEEN 編集部編集長）

坪野谷 雅之 氏④

(立教経済人クラブ会長, 昭和40年経済学部卒)

*田辺氏は, 2004年12月20日に急逝されたが, 2004年11月5日付で評価報告のご提出いただいた。氏のご冥福をお祈りする。

4. 評価作業の経過

2004年5月14日:

外部評価委員の委嘱および全カリ運営センターの諸資料の送付

〈送付資料〉

- ・全学共通カリキュラム「履修要項」および「講義内容」(2004年度)
- ・立教大学白書(1997年度, 2002年度)
- ・相互評価調査(2003年度)
- ・大学教育研究フォーラム(No.1~9)
- ・「立教大学〈全カリ〉のすべてーリベラル・アーツの再構築ー」(東信堂, 2001年)他

2004年10月16日:

ヒアリング実施(於池袋キャンパス12号館第1会議室)

〈プログラム〉

10:00 開会 全カリ部長挨拶
出席者紹介

10:15 ヒアリングの持ち方について協議

10:30 全カリ活動の紹介および
質疑応答1

12:40 (昼食)

13:30 学生面談

14:45 質疑応答2

16:20 質疑応答3 ならびに今後の方針について協議

16:50 大学代表挨拶

17:00 閉会

2005年2月末:

各評価委員より, 重点的に評価を依頼した項目を中心とする「評価報告」の提出。

2005年3月末:

委員長より, 各委員からの評価報告を踏まえた「総評」の提出。

全カリ運営センターとして, 外部評価委員会の報告を受けて「自己評価(評価結果についてのコメント)」作成。